2021年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月13日

上 場 会 社 名	株式会社丸八ホールディングス	上場取引所	名
コ ー ド 番 号	3504	URL	https://www.maruhachi.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	瀧口　陽夫
問合せ先責任者	（役職名） 経理グループ長	（氏名）	工藤　知足　(TEL) 045-471-0808
四半期報告書提出予定日	2020年11月13日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2021年３月期第２四半期の連結業績（2020年４月１日～2020年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年３月期第２四半期	6,341	△8.5	897	111.9	904	224.4	563	326.1
2020年３月期第２四半期	6,932	△6.9	423	△28.9	278	△69.0	132	△76.8

（注）包括利益 2021年３月期第２四半期　403百万円（　－%）2020年３月期第２四半期　△27百万円（　－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年３月期第２四半期	36.38	―
2020年３月期第２四半期	8.54	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年３月期第２四半期	59,741	45,319	75.9
2020年３月期	58,564	45,380	77.5

（参考）自己資本 2021年３月期第２四半期　45,319百万円　2020年３月期　45,380百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年３月期	―	0.00	―	30.00	30.00
2021年３月期	―	0.00			
2021年３月期(予想)			―	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2021年３月期の連結業績予想（2020年４月１日～2021年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,580	△7.3	1,410	76.4	1,530	79.5	890	80.0	57.44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　ー 社（社名）　　、除外　ー　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年３月期２Ｑ	16,579,060株	2020年３月期	16,579,060株
②　期末自己株式数	2021年３月期２Ｑ	1,081,540株	2020年３月期	1,081,540株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2021年３月期２Ｑ	15,497,520株	2020年３月期２Ｑ	15,497,520株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料の３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……10
（継続企業の前提に関する注記） ……10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……10
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） ……10
（セグメント情報等） ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内閣府の月例経済報告によりますと、「景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。」とされており、先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されます。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

（寝具・リビング用品事業）

当第２四半期連結累計期間の状況といたしましては、前年同四半期と比べ減収・増益となりました。

減収の主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響により得意先の各種経済活動が停滞しており、殆どの販売チャネルにおいて営業活動が滞ったためであります。また、主力のダイレクトセールス部門におきまして、販売員増員を課題として認識しておりますが、継続的な採用活動に努めるも奏功せず減員となったためであります。

一方、増益となった主な要因は、ダイレクトセールス部門においてクリーニングの好調等により一人当たり売上高が上昇したこと及び当社グループ全体で業務効率化と経費圧縮に努めたことによるものであります。

（不動産賃貸事業）

当第２四半期連結累計期間の状況といたしましては、前年同四半期と比べ増収・増益となりました。

増収の主な要因は、2019年11月度より発生しております建て貸し用ホテルの賃料収入によるものであります。

増益の主な要因は、上記増収要因に加え、修繕費等の設備関係費が前年同四半期を下回ったためであります。

なお、新型コロナウイルスの感染が拡大する状況下においても、主要物件である西新宿パークウェストビル・丸八青山ビル・丸八新横浜ビルの収益は堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は6,341,181千円と前年同四半期と比べ591,635千円（8.5%）の減収となりました。営業利益は897,001千円と前年同四半期と比べ473,737千円（111.9%）の増益となりました。経常利益は前年同四半期において為替差損を381,384千円計上したこと等により、前年同四半期と比べ625,971千円（224.4%）増益の904,906千円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は563,768千円となり、前年同四半期と比べ431,466千円（326.1%）の増益となりました。

セグメント毎の状況は以下のとおりであります。

① 寝具・リビング用品事業

当セグメントにおきましては、売上高は5,827,924千円と前年同四半期と比べ633,849千円（9.8%）の減収、セグメント利益（営業利益）は871,938千円と前年同四半期と比べ304,662千円（53.7%）の増益となりました。

② 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は513,257千円と前年同四半期と比べ42,214千円（9.0%）の増収、セグメント利益（営業利益）は295,295千円と前年同四半期と比べ123,570千円（72.0%）の増益となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,177,210千円増加し、59,741,541千円となりました。これは主に、新規借入や債券の償還等の影響による現金及び預金1,486,452千円の増加と、夏期以降の出荷に備えた仕入・生産活動等によるたな卸資産428,250千円の増加があったことによるものであります。一方で、受取手形及び売掛金が386,833千円減少、債券の償還等により有価証券が310,199千円減少しております。

負債は、前連結会計年度末と比較して1,238,310千円増加し、14,421,877千円となりました。これは主に、新規借入により長期借入金が1,000,000千円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して61,099千円減少し、45,319,664千円となりました。これは主に、海外子会社の換算レートの変動により為替換算調整勘定が195,981千円減少したことによるものであります。一方で、期末配当による剰余金の処分を上回る親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が98,842千円増加しております。

②キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は、前連結会計年度末に比べ895,944千円減少し、22,064,928千円となりました。当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローと要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は1,143,844千円（前第２四半期連結累計期間は839,363千円の獲得）となりました。

この主な要因は、税金等調整前四半期純利益872,705千円、減価償却費223,413千円、売上債権の減少386,833千円によるものであります。一方で、たな卸資産の増加429,584千円、法人税等の支払額190,693千円などがありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は2,419,315千円（前第２四半期連結累計期間は3,461,423千円の獲得）となりました。

この主な要因は、定期預金の純増額2,520,580千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は534,944千円（前第２四半期連結累計期間は465,498千円の使用）となりました。

この主な要因は、長期借入れによる収入1,000,000千円があったことによるものであります。一方で、配当金の支払額464,925千円がありました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年８月11日に公表いたしました2021年３月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「第２四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2020年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,196,234	29,682,686
受取手形及び売掛金	6,138,406	5,751,572
有価証券	1,789,439	1,479,240
たな卸資産	2,198,838	2,627,089
その他	372,386	413,936
貸倒引当金	△66,749	△76,481
流動資産合計	38,628,555	39,878,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,681,137	19,750,984
減価償却累計額	△14,574,242	△14,702,242
建物及び構築物（純額）	5,106,895	5,048,741
機械装置及び運搬具	2,670,519	2,693,309
減価償却累計額	△2,347,134	△2,370,372
機械装置及び運搬具（純額）	323,385	322,936
工具、器具及び備品	757,132	743,817
減価償却累計額	△526,715	△536,917
工具、器具及び備品（純額）	230,417	206,899
土地	13,069,599	13,036,996
建設仮勘定	1,767	1,767
有形固定資産合計	18,732,064	18,617,341
無形固定資産	28,819	25,126
投資その他の資産		
投資有価証券	673,771	731,209
繰延税金資産	290,036	294,104
その他	253,085	240,002
貸倒引当金	△42,001	△44,288
投資その他の資産合計	1,174,892	1,221,027
固定資産合計	19,935,775	19,863,496
資産合計	58,564,330	59,741,541

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2020年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	325,929	480,396
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	1,000,000
未払金	693,686	486,747
未払法人税等	166,169	287,228
賞与引当金	182,380	171,864
返品調整引当金	64,141	63,134
割賦利益繰延	1,154,167	1,051,896
その他	839,794	1,120,239
流動負債合計	4,426,270	4,661,507
固定負債		
長期借入金	7,000,000	8,000,000
役員退職慰労引当金	23,982	23,982
退職給付に係る負債	376,564	379,116
長期預り保証金	1,176,279	1,155,880
繰延税金負債	13,352	34,402
その他	167,118	166,988
固定負債合計	8,757,296	9,760,369
負債合計	13,183,567	14,421,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,427,998	1,427,998
利益剰余金	47,309,339	47,408,182
自己株式	△2,216,142	△2,216,142
株主資本合計	46,621,195	46,720,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△48,561	△6,395
繰延ヘッジ損益	5,511	△615
為替換算調整勘定	△1,197,381	△1,393,363
その他の包括利益累計額合計	△1,240,432	△1,400,374
非支配株主持分	0	0
純資産合計	45,380,763	45,319,664
負債純資産合計	58,564,330	59,741,541

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 2019年４月１日 至 2019年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2020年４月１日 至 2020年９月30日）
売上高	6,932,816	6,341,181
売上原価	2,569,713	1,974,654
売上総利益	4,363,103	4,366,527
販売費及び一般管理費	3,939,839	3,469,525
営業利益	423,263	897,001
営業外収益		
受取利息	183,424	102,819
受取配当金	6,537	6,216
受取手数料	30,425	33,772
その他	31,638	19,774
営業外収益合計	252,026	162,583
営業外費用		
支払利息	6,752	7,034
為替差損	381,384	144,636
その他	8,217	3,007
営業外費用合計	396,354	154,678
経常利益	278,935	904,906
特別利益		
有形固定資産売却益	9,461	1,215
特別利益合計	9,461	1,215
特別損失		
減損損失	－	32,602
有形固定資産売却損	6,843	51
有形固定資産除却損	25,034	762
ゴルフ会員権評価損	1,000	－
特別損失合計	32,877	33,416
税金等調整前四半期純利益	255,519	872,705
法人税等	123,216	308,936
四半期純利益	132,302	563,768
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	132,302	563,768

四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 2019年４月１日 至 2019年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2020年４月１日 至 2020年９月30日）
四半期純利益	132,302	563,768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	264	42,166
繰延ヘッジ損益	△62	△6,127
為替換算調整勘定	△160,036	△195,981
その他の包括利益合計	△159,834	△159,942
四半期包括利益	△27,532	403,826
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△27,532	403,826
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 2019年４月１日 至 2019年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2020年４月１日 至 2020年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	255,519	872,705
減価償却費	217,610	223,413
減損損失	－	32,602
有形固定資産除却損	25,034	762
有形固定資産売却損益（△は益）	△2,618	△1,163
ゴルフ会員権評価損	1,000	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	6,279	12,531
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,763	△10,516
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△2,581	2,552
割賦利益繰延の増減額（△は減少）	△120,243	△102,271
受取利息及び受取配当金	△189,961	△109,036
支払利息	6,752	7,034
為替差損益（△は益）	375,845	154,759
売上債権の増減額（△は増加）	398,309	386,833
たな卸資産の増減額（△は増加）	△196,090	△429,584
仕入債務の増減額（△は減少）	△251,794	155,708
未払消費税等の増減額（△は減少）	32,812	△4,310
その他	137,458	1,184
小計	695,096	1,193,205
利息及び配当金の受取額	275,759	148,366
利息の支払額	△6,752	△7,034
法人税等の支払額	△124,740	△190,693
営業活動によるキャッシュ・フロー	839,363	1,143,844

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 2019年４月１日 至 2019年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2020年４月１日 至 2020年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額（△は増加）	3,828,917	△2,520,580
有形固定資産の取得による支出	△378,300	△154,368
有形固定資産の売却による収入	26,839	4,624
無形固定資産の取得による支出	△11,435	－
投資有価証券の取得による支出	△200	△496
投資有価証券の売却及び償還による収入	200	264,350
短期貸付金の純増減額（△は増加）	5,582	4,848
長期貸付金の回収による収入	3,757	2,354
その他	△13,937	△20,048
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,461,423	△2,419,315
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	－	1,000,000
配当金の支払額	△464,925	△464,925
その他	△573	△130
財務活動によるキャッシュ・フロー	△465,498	534,944
現金及び現金同等物に係る換算差額	30,389	△155,417
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,865,677	△895,944
現金及び現金同等物の期首残高	13,839,325	22,960,872
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,705,003	22,064,928

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　2019年４月１日　至　2019年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	寝具・リビング用品事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,461,773	471,043	6,932,816	－	6,932,816
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	118,052	118,052	△118,052	－
計	6,461,773	589,095	7,050,869	△118,052	6,932,816
セグメント利益	567,276	171,725	739,001	△315,737	423,263

（注）１．調整額は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△118,052千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△315,737千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　2020年４月１日　至　2020年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	寝具・リビング用品事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	5,827,924	513,257	6,341,181	－	6,341,181
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	120,717	120,717	△120,717	－
計	5,827,924	633,975	6,461,899	△120,717	6,341,181
セグメント利益	871,938	295,295	1,167,234	△270,233	897,001

（注）１．調整額は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△120,717千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△270,233千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

不動産賃貸事業において、一部の固定資産について異なる用途への転用に伴い、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し32,602千円を減損損失（特別損失）に計上しております。